

日 薬 業 発 第 240 号
令 和 8 年 8 月 25 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 渡邊 大記

日本老年薬学会「老年薬学 服薬総合評価研修会」のご案内について（その2）

平素より、本学会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

一般社団法人日本老年薬学会において開催された、第1回 老年薬学 服薬総合評価研修会につきましては、令和8年7月9日付け日薬業発第151号にてお知らせしたところです。

今般、一般社団法人日本老年薬学会において、別添のとおり、第2回・第3回 老年薬学 服薬総合評価研修会が本会後援で開催されますのでお知らせいたします。

本研修会の目的は、老年薬学の視点に基づき、高齢者に対する服薬総合評価を実践できる薬剤師を育成し、地域における高齢者薬物療法の質および安全性の向上に寄与することを目的としています。

会務ご多用のところ恐縮ですが、貴会会員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

本研修会の募集要項等につきましては日本老年薬学会HPからご確認ください。

○「老年薬学 服薬総合評価研修会のお知らせ」

日本老年薬学会ホームページ＞学術大会・研修会等＞老年薬学 服薬総合評価研修会＞募集要項はこちら

<https://www.jsgp.or.jp/news/20260302/>

○第2回 老年薬学 服薬総合評価研修会

開 催 地：TKPガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田街道

〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎 2-3-5 梅新第一生命ビルディング

開 催 日：2026年10月25日（日）

募集開始：2026年8月21日（金）から

定 員：150名

○第3回 老年薬学 服薬総合評価研修会

開 催 地：オンライン（ZOOM）

開 催 日：2026年12月6日（日）

募集開始：2026年8月21日（金）から

定 員：150名

○第4回 老年薬学 服薬総合評価研修会

開催地：オンライン（ZOOM）

開催日：2027年3月21日（日）

募集開始：未定 ※決まり次第、お知らせいたします。

定員：150名

（別添）

第2回 老年薬学 服薬総合評価研修会（一般社団法人日本老年薬学会）

第3回 老年薬学 服薬総合評価研修会（一般社団法人日本老年薬学会）

2026年度

第2回



老年薬学

服薬総合評価研修会

「服用薬剤調整支援料2」対応

別添

2026年度 第2回 老年薬学 服薬総合評価研修会（大阪）

開催日

2026年10月25日(日)

会場

現地会場（TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道）
※事前オンデマンド講義受講必須

定員

150名

参加形式

講義研修はオンデマンド視聴／演習研修は現地対面式

決済方法

クレジットのみ

入金締切

9月16日(水)まで

参加費

会員20,000円、非会員25,000円

参加申込用
二次元コード

※詳細は参加申込ページよりご確認ください。

申込期間・講義研修視聴期間

申込期間

2026年8月21日(金)12:00 ~
2026年9月16日(水)23:59まで講義研修
視聴期間2026年9月25日(金) ~
2026年10月25日(日) 23:59まで

演習研修＜当日のタイムスケジュール＞

09:30～09:40	オリエンテーション
09:40～12:10	①服薬総合評価 基礎編
12:10～13:00	休憩
13:00～15:30	②服薬総合評価 応用編
15:30～16:00	③レポート作成の考え方
16:00～16:10	事務連絡

▶ 講義研修（オンデマンド視聴）

講義数：各約30分 必須13項目（計390分） + 選択2項目以上（計60分以上）

必須項目：

- ・ポリファーマシーとは？
- ・服薬総合評価の考え方
- ・薬物有害事象の評価と老年症候群
- ・薬物動態の変化と薬物治療、腎機能低下
- ・高齢者の処方適正化スクリーニングツール（国内外、抗コリン等を含む）
- ・服薬アドヒアランスの評価と処方簡素化
- ・高齢者のマルチモビディティに対する治療の優先順位
- ・高齢者の病態の特徴と治療の基本
- ・高齢者総合機能評価
- ・患者への問診・情報収集の方法（多職種連携）
- ・処方提案の具体例1
- ・処方提案の具体例2
- ・服薬支援

選択項目：

老年疾患に関する知識（認知症・せん妄・うつ病、がん、高血圧症、糖尿病、心不全、骨粗鬆症、便秘、排尿障害）から2項目以上

演習研修
ファシリテーター
(予定)

溝神 文博（国立長寿医療研究センター）
相宮 幸典（スギ薬局）
大本 暢子（神戸大学医学部附属病院）
川添 哲嗣（武庫川女子大学）
末松 文博（日本ストレスマネジメント協会JASMA）
丸岡 弘治（介護老人保健施設横浜あおぼの里）
武藤 浩司（新潟市民病院）
赤尾 眞（米沢市立病院）

中道 真理子（原土井病院）
篠永 浩（三豊総合病院）
白根 達彦（東京大学医学部附属病院）
神保 美紗子（スギ薬局）
大荒 政志（育和会記念病院）
小野 光子（あじさい薬局）
東原 和美（バプテスト老人保健施設）
和田 卓也（五日市記念病院）



主催：日本老年薬学会

お問い合わせ：

日本老年薬学会事務局
info@jsgp.or.jp

後援：日本薬剤師会／日本老年医学会

2026年度

第3回



老年薬学

服薬総合評価研修会

「服用薬剤調整支援料2」対応

2026年度 第3回 老年薬学 服薬総合評価研修会（オンライン）

開催日

2026年12月6日(日)

会場

オンライン（ZOOM）※事前オンデマンド講義受講必須

定員

150名

参加形式

講義研修はオンデマンド視聴
演習研修はオンライン（ZOOM）

決済方法

クレジットのみ

入金締切

10月30日(金)まで

参加費

会員20,000円、非会員25,000円

参加申込用
二次元コード

※詳細は参加申込ページよりご確認ください。

申込期間・講義研修視聴期間

申込期間

2026年8月21日(金)12:00 ~
2026年10月30日(金)23:59まで講義研修
視聴期間2026年11月6日(金) ~
2026年12月6日(日) 23:59まで

演習研修＜当日のタイムスケジュール＞

09:30～09:40	オリエンテーション
09:40～12:10	①服薬総合評価 基礎編
12:10～13:00	休憩
13:00～15:30	②服薬総合評価 応用編
15:30～16:00	③レポート作成の考え方
16:00～16:10	事務連絡

▶ 講義研修（オンデマンド視聴）

講義数：各約30分 必須13項目（計390分） + 選択2項目以上（計60分以上）

必須項目：

- ・ポリファーマシーとは？
- ・服薬総合評価の考え方
- ・薬物有害事象の評価と老年症候群
- ・薬物動態の変化と薬物治療、腎機能低下
- ・高齢者の処方適正化スクリーニングツール（国内外、抗コリン等を含む）
- ・服薬アドヒアランスの評価と処方簡素化
- ・高齢者のマルチモビディティに対する治療の優先順位
- ・高齢者の病態の特徴と治療の基本
- ・高齢者総合機能評価
- ・患者への問診・情報収集の方法（多職種連携）
- ・処方提案の具体例1
- ・処方提案の具体例2
- ・服薬支援

選択項目：

老年疾患に関する知識（認知症・せん妄・うつ病、がん、高血圧症、糖尿病、心不全、骨粗鬆症、便秘、排尿障害）から2項目以上

演習研修
ファシリテーター
(予定)

溝神 文博（国立長寿医療研究センター）

大本 暢子（神戸大学医学部附属病院）

末松 文博（日本ストレスマネジメント協会JASMA）

中道 真理子（原土井病院）

白根 達彦（東京大学医学部附属病院）

神保 美紗子（スギ薬局）

高橋 寛（岩手医科大学）

中丸 和則（仁天堂薬局）

長藤 多香美（広島市立北部医療センター
安佐市民病院）

根本 彩（神奈川県立足柄上病院）

林 直子（慶應義塾大学薬学部附属薬局）



一般社団法人

主催：日本老年薬学会

お問い合わせ：



日本老年薬学会事務局

info@jsgp.or.jp

公益社団法人

後援：日本薬剤師会／日本老年医学会

一般社団法人